

「妊娠と薬外来のご案内」

高知大学医学部附属病院 産科婦人科

「妊娠しているとわからずに薬を飲んでしまった、妊娠を継続しても大丈夫?」「持病で薬を飲んでいるけれどこのまま妊娠して赤ちゃんに影響はないの?」などの妊娠と薬に対しての疑問・不安・悩みの相談のための外来です。

こういった疑問等に答えるための相談窓口として、また我が国における医薬品の妊娠・胎児に対する影響の情報収集を目的として、2005年に厚生労働省の事業として国立成育医療研究センター(東京都)に「妊娠と薬情報センター」が設置されました。その後、妊娠と薬に関する相談がどこでも受けられるよう、相談窓口は全国に広がり、高知大学医学部附属病院でも、「妊娠と薬情報センター」の拠点病院として、**2017年4月1日から相談窓口を開設**しました。

妊娠中の方およびこれから妊娠を希望される方に使用薬剤の影響について、専門の医師・薬剤師が、国内外のデータ・資料を基に最新の情報を提供します。

◇ 相談日と費用 ◇ ※完全予約制

☆ 外来日：毎週木曜日	☆ 時間：15:00～16:00
☆ 相談費用（自費診療）	10,800円（1回1時間まで）
	5,400円（以降30分ごとに）

相談までの手順

- ①妊娠と薬情報センターのホームページから問診票のPDFをダウンロードしてから印刷をし、必要事項を記入します。 ※最終ページの同意書も必ずご記入ください。
- ②主治医に相談依頼書を記入してもらってください。
※当院の「妊娠と薬外来」での相談の場合、「相談依頼書」が無くても相談できます。
- ③問診票と返信用封筒と相談依頼書を「妊娠と薬情報センター」に郵送します。
「返信用封筒」には自分の住所・氏名を記入し、82円切手を貼ってください。
- ④郵送して1週間程度で妊娠と薬情報センターから【相談方法のお知らせ】が送られます。
- ⑤【相談方法のお知らせ】に従って高知大学医学部附属病院「妊娠と薬外来」の予約を取ります。
- ⑥相談日当日は、外来診療棟1階受付 ②番窓口にお越しください。
- ⑦担当医師・薬剤師が説明いたします。

【妊娠と薬情報センター】

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1 国立成育医療研究センター内

☎ 03-5494-7845

<https://www.ncchd.go.jp/kusuri/>